

# ICT教育に関する学習について



学習支援アプリ「ロイロノート・スクール」

を使ってできること

まずは、  
ここから

書く

- カードに文字を書き込むことができる。(キーボード入力、手書き)

配る

- カードを一斉に配布することができる。

集める

- カードを一斉に集めることができる。

次は、こちら

見る

- 提出したカード等 学習の成果を個別・一斉に見ることができる。

保存する

- 集めたカードをフォルダに振り分けて保存することができる。
- 必要に応じてフォルダを作ることができる

見せる

- 提出したカード等の成果物を個別や一斉、何点かをピックアップして見せることができる。
- 画像や動画を個別に見せたり、焦点化したりして見せることができる。

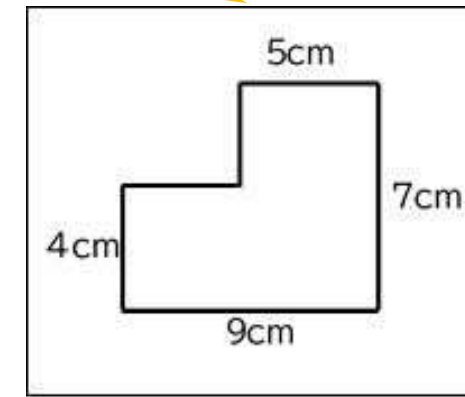
編集する

- 画像・動画・Web ページをカードに張り付けたりして資料を編集することができる。

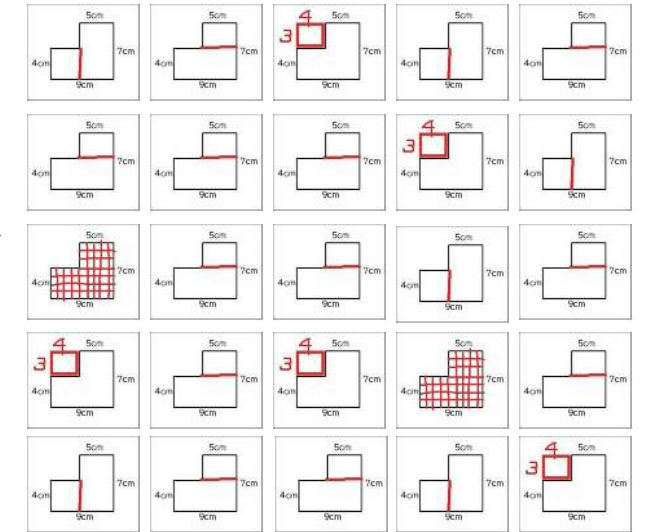
## ロイロノート・スクール活用事例「児童・生徒の考えを共有する」

児童・生徒の解き方を分類して視覚的に見たい。

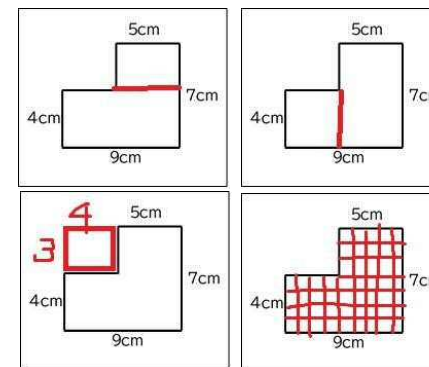
この図形の面積を求めましょう。



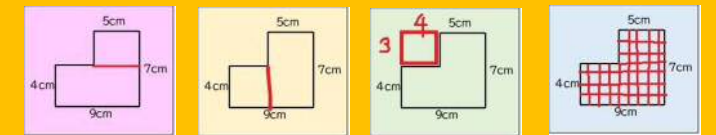
児童の解答



比較する



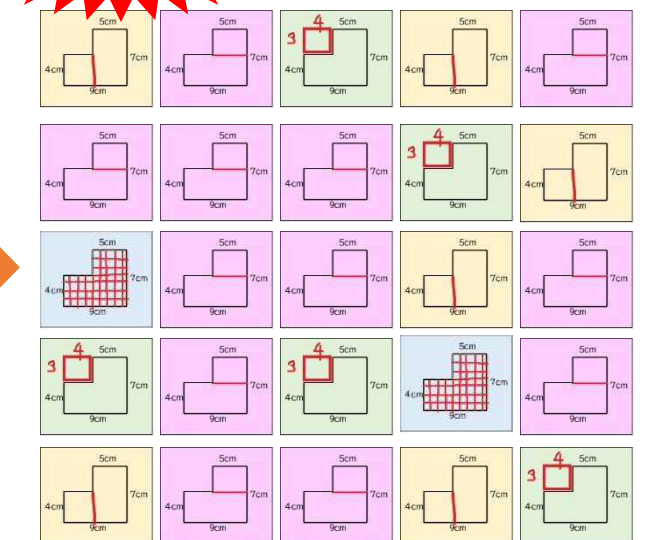
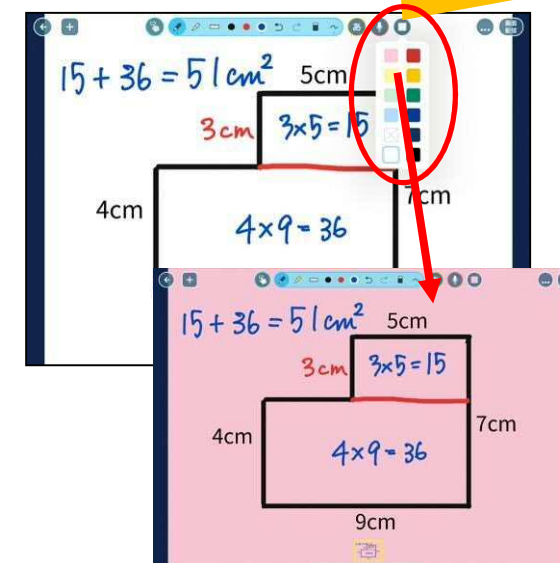
面積を求める方法は4つ。  
自分のカードに色を付けてもう一度提出しましょう。



**完成!**

どの解き方をしている児童が多いか視覚的に見ることができました。

上部にある「■」をタップして、色を選ぶ



子どもたちの学びを変えよう！

品川区立学校

# ICT通信 vol.4

ロイロノート・スクールを活用した授業の試行がはじまっています。

## ロイロノート・スクールを活用した授業実践

学校に配備されている PC を使用して、授業にてロイロノート・スクールを活用した授業を試行的に行いました。協力していただいたのは、富士見台中学校の坂内温実指導教諭で、8年生を対象に理科(気象分野)の授業を行いました。校庭の気象観測データについて考察します。

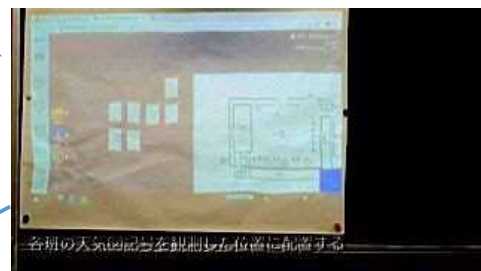


### 生徒 カードに天気図記号を書き込む

- ① 天気図記号を書くカードを資料箱から取り出す。
- ② カードに自分の班の観測点の天気図記号を書く。
- ③ ②のカードを先生に「提出する」

### 先生 学級全体で確認する

- ④ 提出された各班の天気図記号を学級で確認する。
- ⑤ 校庭の図面のカードに、各班が提出した天気図記号のカードを各観測点に並べる。(右写真:方法は裏面の「Tips」で紹介します。)
- ⑥ ⑤のカードを各班に「送る」。



### 生徒 カードに気が付いたことを記入する

- ⑦ 送られてきた⑤のカードを見て考察し、気が付いたことを新しいカードに記入する。
- ⑧ ⑦のカードに音声を録音する。
- ⑨ ⑧のカードを先生に「提出する」。

### 先生 学級全体で共有する

- ⑩ 提出されたカードを学級全体で共有する。
- ⑪ いくつかのカードの音声を再生する。(発表)



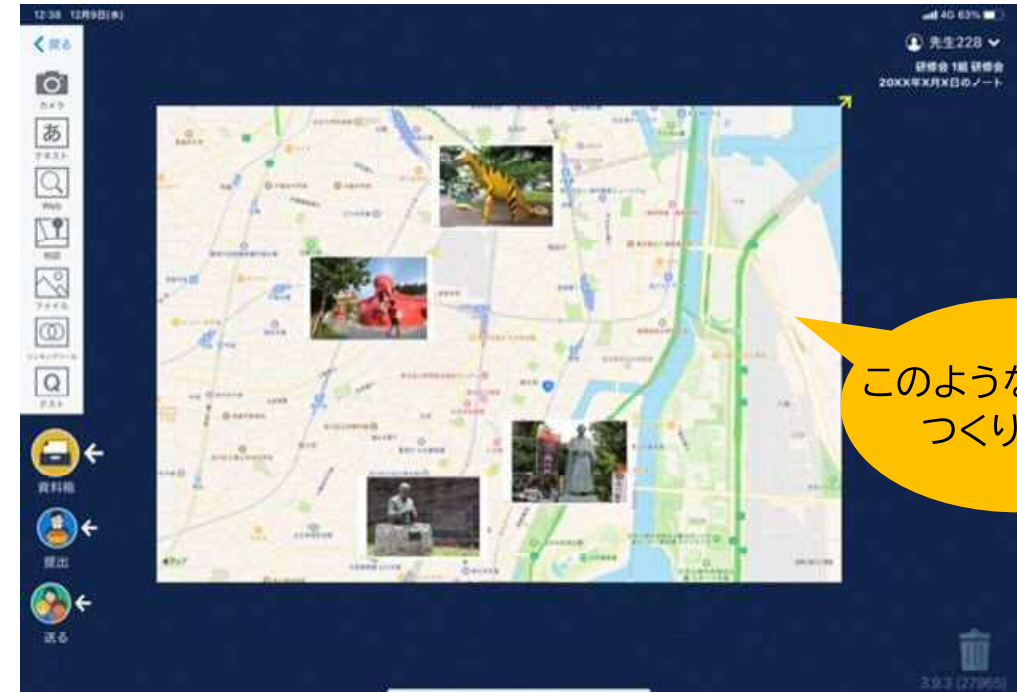
ロイロノート・スクールを使ったのはこの授業が2回目ということでしたが、生徒たちは操作に戸惑うことなく、取り組んでいました。各班の天気図記号と校庭の観測点を見て、どのような特徴があるのだろうと熱心に見出そうとする姿も見られ、授業のねらいに迫る活用が図られていました。

授業者からは、提出されたカードをすぐに共有できること、その場で添削して返却できることは、ロイロノート・スクールの活用のメリットだと思っていると感想をいただきました。

ロイロノート・スクール一つとっても、活用の仕方は様々です。その他の ICT 活用を含め、教員一人一人がアイデアを出し合いながら、児童・生徒の学びの充実を図っていきます。

## Tips! ロイロノート「カードの中にカードを配置する。」

下図のように、地図カードの中に写真カードを配置したい。



このようなカードをつくりたい。

1



カードを押したままにすると上部に「大きく」が表示されるので、タップします。

元々はどのカードも同じ大きさで表示されます。



2

3



カードが大きくなるので、写真カードをドラッグアンドドロップして配置します。

**完成!**

できたカードは一つのカードになり、資料箱に保存や、提出したり、送ったりすることができます。